


坂井地区広域連合広報紙

CONNECT plus

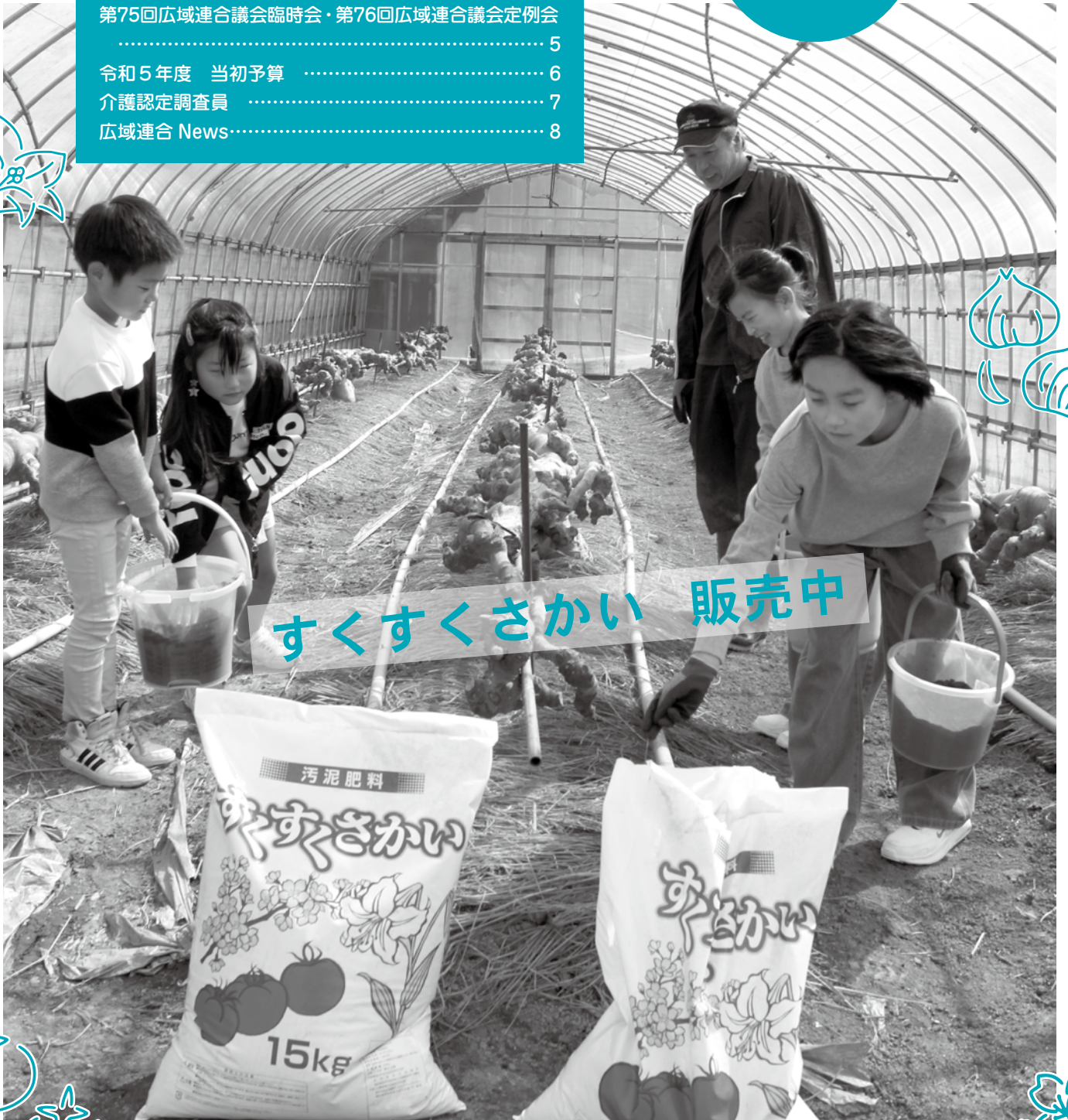
あわら市と坂井市の架け橋となって 

CONTENT

きらり介護びと	2~3
一般質問	4~5
第75回広域連合議会臨時会・第76回広域連合議会定例会	5
令和5年度 当初予算	6
介護認定調査員	7
広域連合 News	8

vol.65

2023.3.31



すくすくさかい 販売中

 詳細は8ページをご覧ください



介護支援専門員
谷口 梨紗

社会福祉法人あわら市社会福祉協議会
あわら市金津雲雀ヶ丘寮

住所:あわら市春宮三丁目28番21号
特別養護老人ホーム入所定員:80名
(多床室:40名、ユニット個室:40名)
短期入所定員:20名 通所定員:20名
通所営業時間:9:00~16:30(日曜日と1月1日
が休み)



『高齢者・障害者福祉の向上
に努め地域から信頼される施設
づくりを目指します。』

きらり介護びと ③

第一線で活躍する介護の
お仕事をしているお二人にイ
ンタビュー

「きらり介護びと」、3回
目のご紹介です。

今回は、金津雲雀ヶ丘寮
の居宅介護支援事業所に勤
務する介護支援専門員の、
渡邊和代さんと、谷口梨紗
さんを紹介いたします。笑顔が
とっても素敵なお二人です。



介護支援専門員
渡邊 和代

仕事の内容

居宅介護支援事業所の介護支援専門員(ケアマネジャー)として、在宅で介護保険を利用される方の相談を受けています。また介護保険を利用される際「居宅介護サービス計画書」(ケアプラン)が必要なため、自立支援のためのケアプランを作成し、その計画に基づいてサービスが提供されるよう、各介護保険事業所との連絡・調整を行っています。

介護の仕事始めたきっかけ

子供が小学校に上がるタイミングで知人から「介護の仕事やってみたい？」と声をかけられたのがきっかけです。介護の仕事は未経験だったため不安が大きかったのですが、未経験分野だからこそ「とりあえずやってみよう」と思い始めました。

仕事の内容

介護を必要としている方やそのご家族様の相談に乗り、自立した生活を営むための適切な介護サービスが受けられるように提案しています。要介護認定の申請手続きやケアプランの作成・介護が適切に受けられているか定期的にモニタリング訪問にも伺っています。また、ご利用者様が包括的な支援を受けられるよう、介護だけでなく医療分野のスタッフとも連携を図っています。

介護の仕事始めたきっかけ

友人が介護の仕事をしており、仕事の話を知りなから、介護の仕事に興味を持ち、やってみようと思いました。

特に大切だと思つたことは？

ご利用者様の想いを一番に汲んだサービスの提案・ケアプランの作成を

特に大切だと思つたこと

「コロナ禍で普段利用しているデイサービス等が休業となることが増えています。休業により、ご利用者様の心身状態・メンタル面、ご家族様の介護負担の増大など影響は多岐にわたっています。ご利用者様・ご家族様の状態を把握し、「今、何が必要か?」「今の自分にできることは何か?」を考え、ご利用者様のADL(日常生活動作)などが低下しないよう、日々奮闘しています。

仕事の中で大切にしていること

「笑顔でいること」を心掛けています。相談に来られる方はこれから始まる「在宅介護」に不安を感じておられるため、「一人で頑張らなくてもいいんだ」と安心していただける対応を心掛けています。

やりがいを感じる瞬間は？

「雲雀さんにお願ひしてよかった」など、感謝の言葉を頂いた時にやりがいを感じます。今まで閉じこもり気味だった方がサービスを利用するようになり、ご本人様やご家族様から「家から出るの嫌やったけど、行って見たら楽しいわ。ありがと!」「おばあちゃんの表情が明るくなった」などの言葉を頂いた時、私自身もうれしく、この仕事をしていてよかった!と感じます。

仕事の中で大切にしていること

介護保険制度は複雑で分かりにくい部分も多いため、理解できるように分かりやすく説明するように心がけています。また、ご利用者様の状況・ご家族様の状況をよく聞き取り、最適な介護サービスを受けながら、いつまでも住み慣れたご自宅での生活が続けられるよう支援したいと思っています。

やりがいをを感じる瞬間は??

「ご利用者様・ご家族様とは、一度相談して終わりではなく、長期的に関わっていくなかで、初めて会った時にはなんとなく警戒しているような方が、時間をかけて信頼関係を築くことで、心を開いてなんでも相談してくれるようになった時は嬉しく感じます。また、サービスを利用することで、介護負担を感じているご家族様のストレスが少しでも軽減している姿を見ると、良かったと感じることがあります。

将来の夢や目標

認定社会福祉士を目指しています。社会福祉士基礎研修Ⅱまでは終了したのですが、研修終了までもう数年かかりそうです。仕事をしながらの研修受講のため、大変なこともあります。あわら市の地域課題に対応できる介護支援専門員になりたいと思っています。

介護の仕事を目指している人へのメッセージ

「介護」と聞くとマイナスイメージを持つ方も多いと思いますが、ご利用者様も自分たちも笑顔になれる素晴らしい職種だと自負しております。今後ますますニーズが高まる職種だと思つので、皆さん一緒に頑張りたいでしょう!



将来の夢や目標

ご利用者様にとって、より快適な暮らしを送ることができるよう、介護保険上のサービスだけでなく、それ以外のサービスやインフォーマルなサービスとのネットワーク作りを継続し、常にご利用者様に寄り添った支援をしていきたいと思っています。

介護の仕事を目指している人へのメッセージ

介護の仕事は、きつくて大変というイメージがありますが、そんな事ばかりではなく、多くの人生の先輩と関わる中で様々な話が聞け、学べる素敵な仕事です。この仕事に少しでも興味を持って頂けたなら、ぜひチャレンジしてほしいです。



第75回広域連合議会臨時会

第75回広域連合議会臨時会が12月23日（金）に開催されました。今回は、2議案が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

上程議案

- 令和4年度坂井地区広域連合一般会計補正予算（第2号）
- 令和4年度坂井地区広域連合介護保険特別会計補正予算（第2号）

第76回広域連合議会定例会

第76回広域連合議会定例会が2月10日（金）に開催されました。今回は、7議案が上程され、いずれも原案のとおり可決されました。

また、次の一般質問が行われました。

上程議案

- 令和4年度坂井地区広域連合一般会計補正予算（第3号）
- 令和5年度坂井地区広域連合一般会計予算

- 令和5年度坂井地区広域連合介護保険特別会計予算
- 令和5年度坂井地区広域連合代官山墓地特別会計予算
- 坂井地区広域連合個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について
- 坂井地区広域連合職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の制定について
- 指定管理者の指定について



一般質問



介護保険事業者ネットワークさかいとの連携をどう進めていくのか

北浦 博憲議員

- 問** ネットワークさかいに加入している事業者はどれくらいか。
- 答** 坂井地区内には、57事業者204事業所があり、現在、その内、46事業者192事業所が加入している。
- 問** キャリアパス制度を採り入れている事業者はどれくらいあるのか。
- 答** キャリアパス制度の導入が算定要件となる、介護職員処遇改善加算の取得状況をみると、坂井地区内では、ほぼキャリアパス制度が導入されると認識している。

- 問** ネットワークさかいとの連携を、どう評価しているのか。
- 答** 地域包括ケアシステムの深化推進、特に坂井地区の在宅医療・介護の連携推進にとって、非常になくはならない存在と考えている。毎年「認知症」、「感染症」、「介護技術の向上」をテーマとした研修会を、計画的に実施していただき、会員のスキルアップはもとより、あわら市・坂井市の住民福祉の向上に繋がっているものと評価をしている。
- 問** 介護人材の不足など課題への取り組みをネットワークさかいと連携し、どのように進めていくのか。
- 答** 介護人材の確保、育成は喫緊の課題であり、引き続き、介護人材への対応を含め介護保険制度の円滑な運用を図るため、ネットワークさかいの皆様との連携を深めてまいりたいと考えている。



「すくすくさかい」の活用について

川畑 孝治議員

- 昨年より、多くの物の値上がりが続いており、農業分野でも肥料の値上げが大きな問題となっている。クリーンセンターで製造・販売をしている汚泥発酵肥料「すくすくさかい」をより多く活用すべきと考える。
- 問** 現在「すくすくさかい」の購入を希望する人には1回の販売量が1人5袋までとなっているが、増やすべきでは。
- 答** 肥料の販売は、アクアペックスさかい（株）との契約で生産割合は決まっているが、多くの人に利用してもらいたいため、見直しをして令和5年4月から1人10袋での販売を実施する。

- 問** 市民への情報提供はどのように考えているのか。
- 答** 広域連合では広報誌を発行しており、3月31日発行号でお知らせしたい。また、ホームページにも掲載したいと考えている。
- 問** 大量に利用したい人には、フレコンバックでの販売をしては。
- 答** これまで実績が無いため、アンケートの実施を考えている。袋詰め肥料の生産への影響などを考慮して検証したい。
- 問** 袋代が高騰しているのではないかと、価格の見直しは考えているのか。
- 答** 現状では現在の価格での販売が可能だが、今後さらに袋代が高騰した場合には、値上げについて検討が必要になる。



心の安らぐ斎苑であるために

辻 人志議員

- 問** 代官山斎苑の設置年月日、改築年、総事業費は。
- 答** 平成18年1月に竣工し今年度で18年目になる。総事業費は約7億6千8百万円。これまで改築は行っていない。
- 問** 代官山斎苑の待合室について、利用促進策を問う。
- 答** 火葬の際の待ち時間に食事場所として利用していただいているほか、小規模の通夜・

葬儀などを実施しており、パンフレットを代官山斎苑や市役所に置くなどして利用率の向上に努めている。

- 問** 今後の施設（設備）改修・改築の予定は。
- 答** 主にこれまで火葬炉と火葬台車の修繕を行っている。今年度は空調設備の入れ替えや火葬炉レンガの積み替え工事を実施している。現在、施設に目立った劣化はないが、今後も定期的な修繕や整備を実施し、施設を長く使用できるよう努めていきたい。



介護保険の総合的な対策について

畑野 麻美子議員

- 問** 介護保険の負担増をなくしていくため連合長として国に声を上げると同時に、広域連合としての支援をすべき。
- 答** 利用者増と負担という問題があるが、「高額介護サービス費」や「特定入所者介護サービス費」などの負担軽減策がある。介護サービスの利用が制限されることのないよう負担軽減の拡大を図ることについて、全国市長会及び全国介護保険広域化推進会議を通じ、国に対し、必要な措置を講ずるよう要望している。
- 問** フレイル事業の今後の在り方として、東京大学のフレイルチェックと福井大学の坂井市でモデ

- ル事業としているフレイル予防体操教室との協働をするのかどうか。食事、社会参加、運動などどのように広めていくのか。
- 答** 二つの事業をバランスよく取り組むよう坂井市に働きかけるとともに、市民に選択肢を広げることで、フレイル予防事業を幅広く浸透していきたい。
- 問** お1人さまが増えていく中、地域共生社会で、誰もがいつでも行きかうことのできるごちゃまぜの居場所づくりが必要。
- 答** 民間主体の事業で、担い手となる民間側の経営面あるいは人員面、全体で100名近くの人員を確保する必要があるなど、いろんな課題を含め、事業所などに相談しながら、まずは視察をして検討していく。



介護従事者のための環境整備を

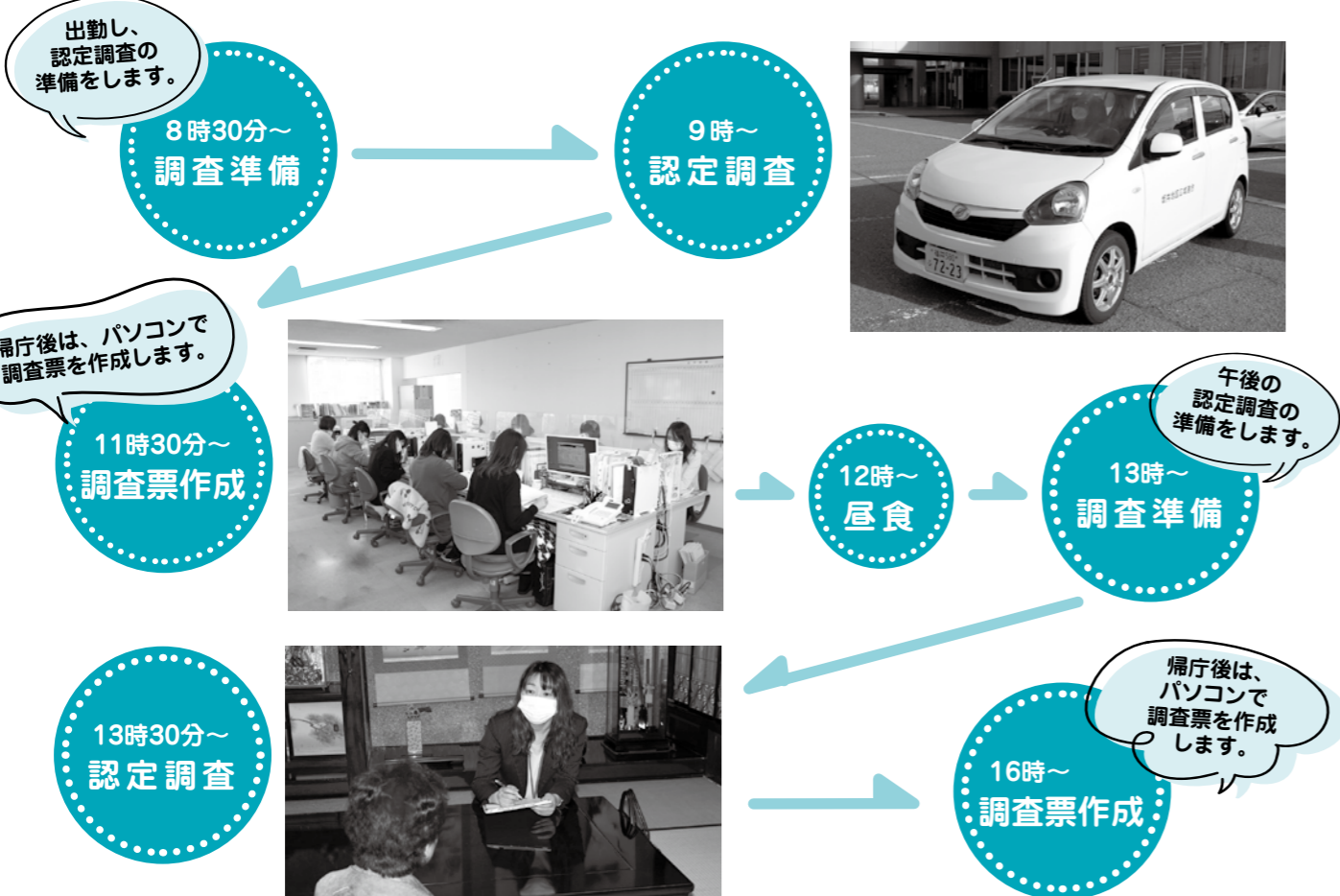
永井 純一議員

- 問** 介護従事者や利用者の負担軽減のため、介護ロボットやDXの活用を強力に進めること。
- 答** 利用者・介護従事者の負担軽減について、ロボット、ICT、DXが非常に重要と考えている。生産年齢人口減少の中、負担軽減だけでなく事業運営のベースと考えている。情報を収集しつつ事業所に広めていきたい。
- 問** 施設経営者は福祉・介護に対する崇高な理念を持っていると思うが、今一度、他施設の好事例や福祉は幸福という理念を学ぶ研

- 修会などを積極的に行ってはどうか。
- 答** 介護職員の確保、定着について、まずは経営者の明確な経営理念がベースになる。希望の持てる職場づくり、魅力向上が重要と考える。来年度になるが、介護事業所のサービス計画を作成する方々、担当者を対象とする研修会を開きたい。
- 問** 介護従事者の方が安心して働けるよう、悩みの相談や仕事のアドバイスを気軽に受けられる体制は。
- 答** 福祉・介護の仕事の相談は県の社会福祉協議会が担当している。ハローワーク三国で移動相談会も開催されているので周知を図っていく。また職場の中で相談がとれるようなことを図ってほしい。

私たちが伺います 介護認定調査員

坂井地区広域連合には、8名の介護認定調査員が在職し、介護認定申請をしたあわらし、坂井市の人の自宅等に訪問し、調査を行っています。認定調査員は、全国一律の方法によって、対象者本人やご家族等から心身の状態に関する聞き取りを行います。



要介護認定の申請

申請の窓口は市役所の介護保険担当課です。申請は、本人のほか家族でもできます。右記のところでも申請の依頼ができます。(更新申請も含まれます)

- ・地域包括支援センター
- ・居宅介護支援事業者
- ・介護保険施設

要介護認定 (調査～判定)

申請すると、訪問調査(広域連合の調査員が自宅などを訪問して心身の状態を聞き取る)が行われます。その後、主治医の意見書なども参考に公平な審査・判定が行われます。

令和5年度 当初予算



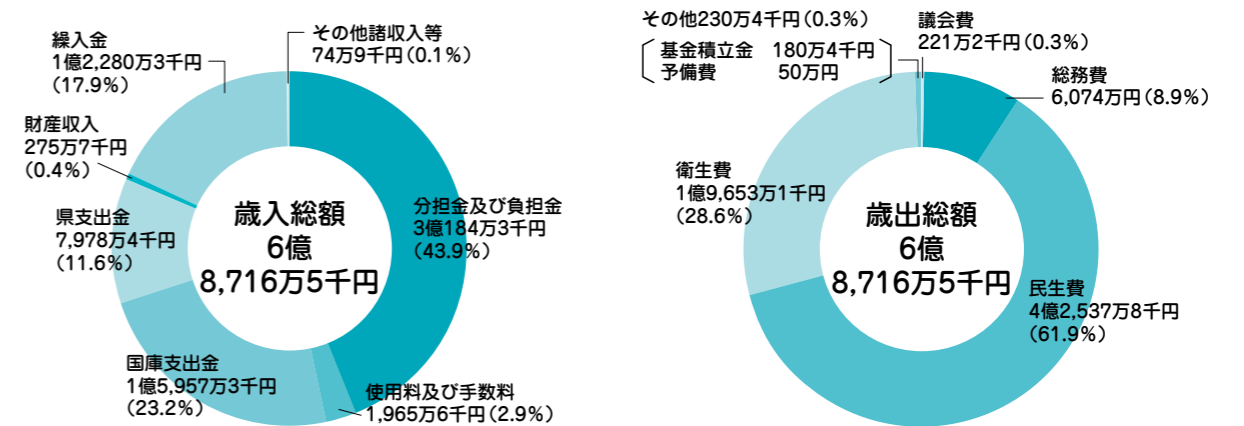
坂井地区広域連合の令和5年度当初予算の概要をお知らせします。

予算総額125億6,649万6千円

※1 金額は原則千円未満を四捨五入しています。※2 比率は小数点第2位以下を四捨五入しています。

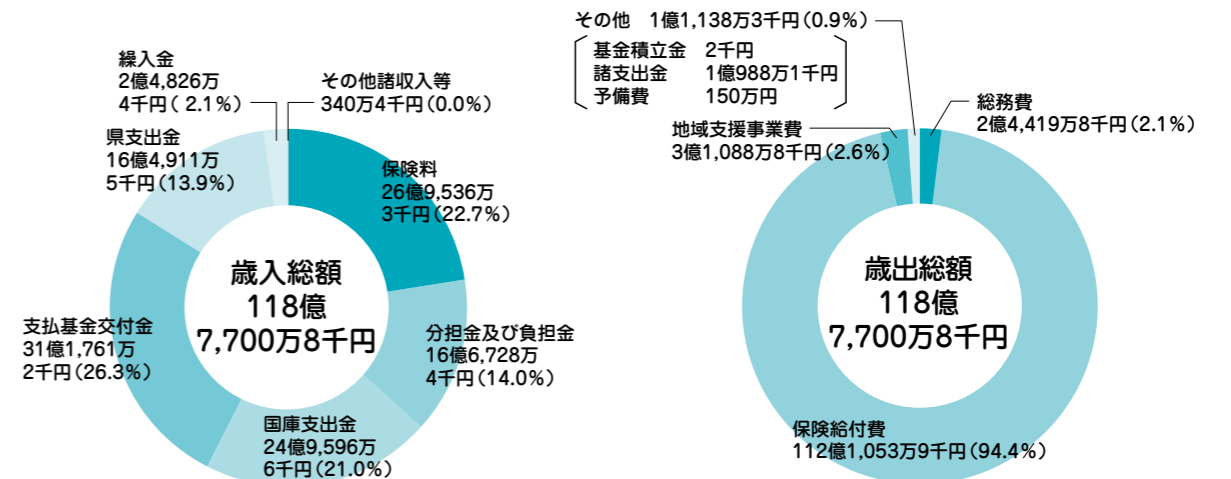
一般会計 総額6億8,716万5千円

広域連合の組織運営、代官山斎苑およびさかいクリーンセンターの維持管理のための会計です。



介護保険特別会計 総額118億7,700万8千円

広域連合の主な事業である介護保険事業のための会計です。



代官山墓地特別会計 総額232万3千円

代官山墓地の維持管理のための会計です。



坂井地区広域連合議会議員視察研修 (11月15日、16日)

社会福祉法人 鈴鹿福祉会 鈴鹿グリーンホーム（三重県鈴鹿市）では全国でも先進的の事業に取り組んでいるICT、介護ロボット等について研修いたしました。施設内の見学では、利用者が入居している部屋に設置してある見守り支援のカメラ型センサーやマット系センサー等（個人別に設定）について、実際に稼働した状況も見せていただき、また、約10種の介護ロボットのうちいくつか、実際に体験しました。

社会福祉法人 弘仁会 特別養護老人ホーム美里ヒルズ（三重県津市）ではユニットリーダーについて研修いたしました。ユニットリーダー研修の実習施設として、1年間で延べ3500人、60〜70名の実習生を受け入れており、さらに全国社会福祉協議会で、理想の特別養護施設として、全国9,700施設の中の58施設に選ばれるなど、とても優れた施設であり、全体的に温かみを感じる施設でした。

三重中央開発（株）（三重県伊賀市）では廃棄物処理場の見学、災害廃棄物処理の現況について研修いたしました。この施設には、さかいクリーンセンターのし尿処理の際に出てくる、し渣（ゴミ）や沈砂（砂）の処分を委託しています。

今回の研修は大変に有意義であり、今後の坂井地区の業務実施等において参考にしていきたいと考えています。



さかいクリーンセンターからのお知らせ

すくすくさかい（汚泥肥料）を販売しています。

- 販売価格 1袋税込100円 内容量15kg
1家族1人まで、4月予約分から最大10袋になりました。
- 配布日時 毎週火曜日、木曜日 9時～12時
- 申込方法 あらかじめ電話での予約が必要となります。
- 問い合わせ さかいクリーンセンター
坂井市坂井町今井1-1
☎72-2200

※耕作時期は、お渡しに時間がかかりますので、早めのご注文をお願いします。



編集後記

令和4年度から広報委員会のオブザーバーとして、参加させていただきました。誌名を変更したり、記事の内容を協議したりと、有意義な時間を過ごすことができました。

春は出会いの季節ですね。出会いは人生の中で、財産になると思います。これからも、一つひとつの出会いを大切に、笑顔で生きていきたいです。二年間ありがとうございました。

今後とも坂井地区広域連合をどうぞよろしくお願いいたします。(高)